

武庫庄の食農教育と五感体験型食育

武庫庄小学校周辺には、尼崎では珍しく田んぼが点在し、武庫川からひかれた水が流れる用水路にはナマズなどの珍客も見かけます。田んぼに水がはられるとすぐにカエルの鳴き声が聞かれ、カルガモやアオサギも飛来します。そして、田んぼの中には、オタマジャクシやカブトエビ、ホウネンエビ、カイエビが、田んぼの上には、最近少なくなったツバメやギンヤンマの姿が見られます。武庫庄小学校は、このように恵まれた環境に加えて、学校を応援して下さる地域の方の協力にも恵まれ、子どもたちに豊かな体験を伴う充実した環境教育や食農教育を行うことができます。

特に米作りに関しては、毎年、西村昌浩様のご厚意により5年生が貴重な体験学習の機会を得ています。市の農政課、JA、武庫公民館の皆様のご協力も得ています。苗づくり、田植え、稲刈り、脱穀、調理実習でのご飯づくり(味噌汁の味噌も4年生のときに仕込んだ武庫庄産味噌です)から最後は藁を使ったしめ縄作りまで、1年を通しての体験活動の他、授業でも、田植え機の部品を持ち込んでの講義により学習を深めました。

また、4年生は、3年生のときに植えた武庫一寸豆(ソラマメ)の収穫を行いました。「空に向かってさやがつくからソラマメ言うんやね」「さやの中はふかふかのベッドみたい」と実体験に基づく学びは貴重です。栄養教諭の城阪先生のご指導で塩ゆでにして食べ、穫れたての豆の美味しさも実感しました。育てて、作って、食べるという五感体験型食育の実践につながる学習になりました。



なえづくり



田うえ



いねかり



西村さんのお話



いねのだっこ



ごはんのみそしるづくり



お正月のしめなわづくり



武庫一寸豆(ソラマメ)を3年生のときにうえ、4年生でしゅうかくして食べます。



しろさか先生にも食育(しょくいく)の授業をいっぱいいただきました。これは3年生に大豆(だいず)からいろいろなものを作る授業です。おいしい豆腐(とうふ)ができました。



(株)エーデルワイス様による、スイーツ特別授業のようすです。

目の前で、あっという間にイチゴがたっぷりのったデコレーションケーキができあがっていきます。

最後に、パティシエ、パティシエールになりたいという夢を持つ子が、帽子をかぶらせてもらい、ますます夢をふくらませることができました。